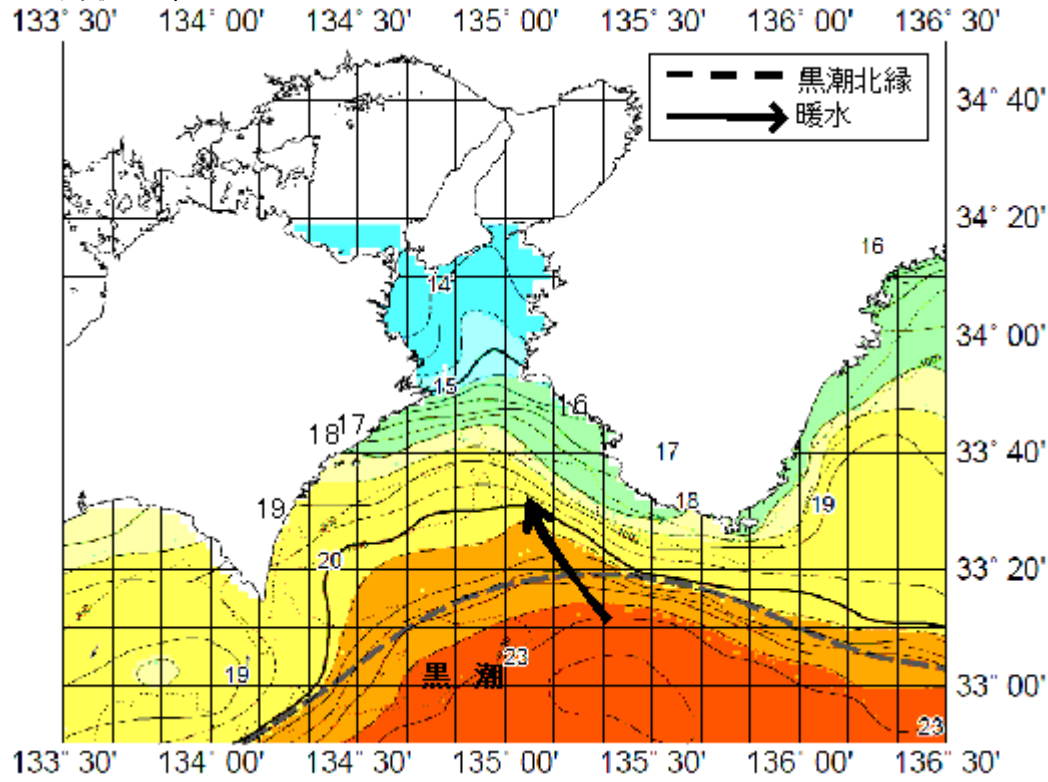


1. 海況の経過



海況

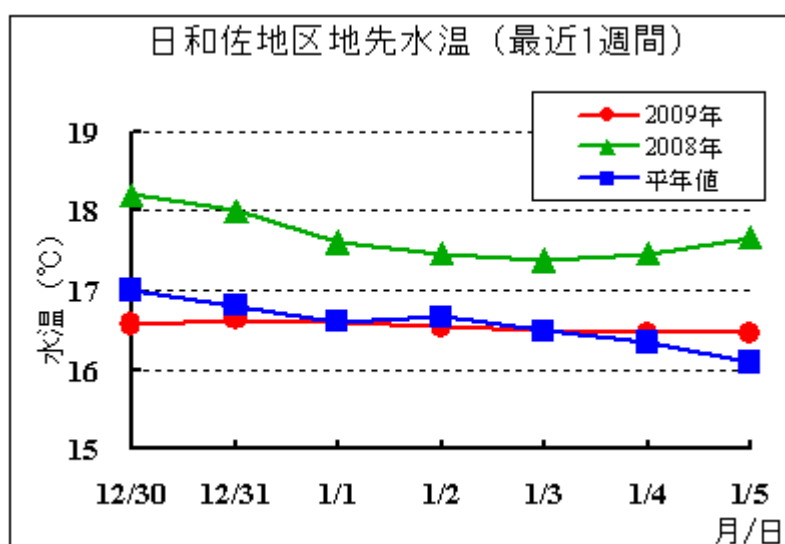
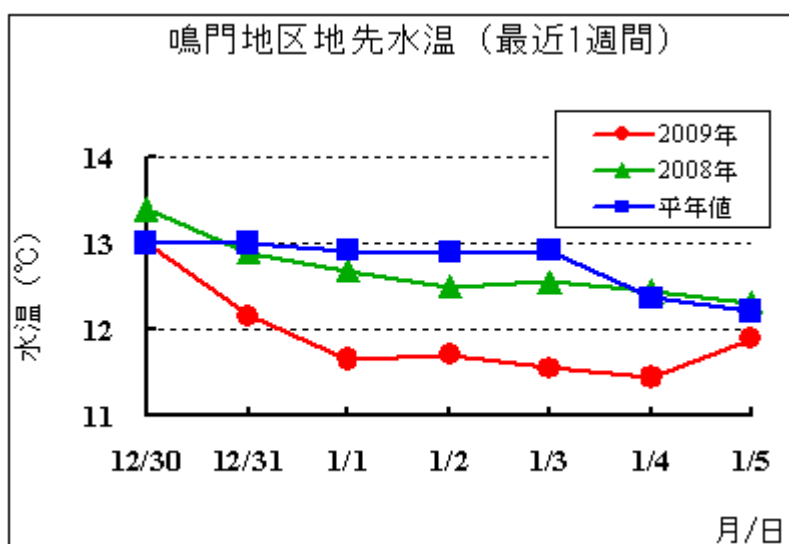
上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H21.1.5)を示した。
 黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。
 黒潮本流の表面水温は21～23℃台である。
 表面水温は播磨灘が11℃台、紀伊水道が13～15℃台、外域が15～19℃台である。
 室戸岬沖には、周囲と比べて水温の低い範囲があり、黒潮がやや離岸している。紀伊水道は、和歌山県側から黒潮系の暖水波及を受けている。
 漁業調査船「とくしま」が12月15、22、24日に行った海部沿岸海区の海洋観測では、水温は全層とも「やや低め」の17.6～19.3℃であった。

海部沿岸海区観測結果 (観測日 2008/12/15,22,24)

水温	水深						塩分	水深					
	表層	10m	20m	30m	50m	100m		表層	10m	20m	30m	50m	100m
今年値	19.3	19.2	19.2	19.2	19.1	17.6	今年値	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	34.5
平年偏差	-0.5	-0.6	-0.7	-0.7	-0.8	-1.0	平年偏差	0.0	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	0.0
前年偏差	-1.3	-1.3	-1.3	-1.3	-1.5	-2.5	前年偏差	-0.3	-0.3	-0.2	-0.2	-0.3	-0.1

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の14.5～14.9℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の16.9～18.1℃、牟岐地区は「やや低め」～「平年並み」の16.8～18.2℃で推移した。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、大主体にサバフグが0.3トン(1日1隻当たり32kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、アオリイカが0.5トン(同11kg)、メジナが0.3トン(同48kg)、マルソウダが0.2トン(同12kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、マルソウダが0.2トン(同205kg)、小主体にタチウオが0.2トン(同99kg)、大主体にスルメイカが0.2トン(同87kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、ハマチが2.4トン(同28kg)、アオリイカが0.3トン(同8kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが6.5トン(同325kg)、イカ類が0.9トン(同100kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 12月29日～1月4日 県下5漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	サバフグ	10	320	32	大主体
小型定置網		アオリイカ	48	515	11	
		メジナ	6	286	48	
		マルソウダ	15	173	12	
		大型定置網	マルソウダ	1	205	205
大型定置網		タチウオ	2	198	99	小主体
		スルメイカ	2	174	87	大主体
釣り		ハマチ	85	2,396	28	
		アオリイカ	41	341	8	大主体
パッチ網		紀伊水道	シラス	20	6,500	325
	イカ類		9	900	100	

週間予報:

黒潮は、室戸岬でやや離岸、潮岬で接岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや低め」の11℃台、日和佐地先で「平年並み」の16℃台で推移する見込み。

平成21年前期(1～6月)の漁海況予報:

独立行政法人水産総合研究センター(元水産庁研究所)および太平洋に面した県等の水産研究機関が共同で予報しました。そのうち、徳島県に関連する部分のみ抜粋しました。

1)海況

【黒潮】

◎潮岬以西における黒潮流軸変動

- ・黒潮は、室戸岬沖～潮岬沖では期間を通して離岸傾向で推移する。
- ・潮岬以西では、黒潮の離接岸に伴って沿岸域へ一時的に暖水が波及することがある。

【沿岸水温の推移】

潮岬以西は「平年並み」～「やや低め」で推移する。

2)漁況

マイワシは、1歳魚主体に前年並みか下回る。ウルメイワシは低水準。マサバは低水準。ゴマサバは、1歳魚が前年を下回る。2歳魚は前年を上回る。3歳以上は少ない。サバ類全体としては前年を下回る。マアジは前年を下回る。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上